

MATSUDO CITY MONTHLY NEWS 松戸市感染症情報



発行日：2026年7月8日
発行：健康医療政策課
次回は8月12日 発行予定

表中の赤字は警報基準値を超え

定点医療機関 あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				手足口病			
	6/1~ 6/7	~6/14	~6/21	~6/28	6/1~ 6/7	~6/14	~6/21	~6/28	6/1~ 6/7	~6/14	~6/21	~6/28	6/1~ 6/7	~6/14	~6/21	~6/28
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	0.45	0.40	0.60	0.55	74.85	77.25	82.85	84.05	6.73	6.27	6.55	6.18	2.09	3.55	6.36	7.00
定点医療機関数	20				20				11				11			
前週比	↓	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↑
コメント	松戸保健所管内では、減少と増加を繰り返していますが、千葉県全体では増加傾向です。 0歳から29歳・・・63.6% 30歳から59歳・・・27.3% 60歳以上・・・9.1%				急性の鼻・のど・耳・気管支・肺などの感染症の総称です。0歳から29歳の患者の割合が全体の約8割を占めています。				松戸保健所管内の定点あたりの患者数は、県内に比べて高い状況が続いています。吐物の処理では換気しながらマスク・手袋や使い捨てエプロンを使うと効果的です。				治った後でもウイルスが便と一緒に排泄される事もあります。アルコール消毒が効きにくいため、おむつ交換時などの手洗いが重要です。			
千葉県	0.57	0.63	0.66	0.69	51.06	53.92	55.31	55.13	3.64	3.41	3.79	3.75	2.08	2.38	4.02	6.26
前週比	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↑
東京都	0.16	0.13	0.14	0.16	45.21	45.83	48.14	48.88	5.12	5.63	5.56	5.07	1.10	1.92	3.60	6.30
前週比	↓	↓	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑

この夏 海外渡航する方必見！

海外旅行は日常にはない解放感が得られる一方で、生活リズムや気候の変化、食習慣の違いなど慣れない環境で体調不良を招いたりするリスクもあります。楽しい思い出にするために覚えておくと安心です。

出発前に情報収集しましょう

- 渡航先の感染症発生状況
- 渡航前に受けておきたい予防接種
- 自分が今まで受けた予防接種



厚生労働省検疫所
(FORTH)
国地域別情報

旅行中に気をつけることは？

●水・食べ物に注意

水や食べ物を介して食中毒の原因となるものが口に入り、様々な病気を引き起こす可能性があります。ペットボトル入りの水を飲むようにしましょう。ジュースや乳製品は信頼できる店舗などで飲むようにしましょう。氷も同様です。食べ物は完全に火が通ったものを温かいうちに食べましょう。

●虫よけ対策

蚊やダニ等、虫にさされたり、咬まれたりすることで感染する病気があります。旅行先では、虫がいる草原や森等の散策の際には、虫よけ対策をしましょう。

●動物には近づかない

東南アジア、南アジアでは狂犬病で死亡する人が後を絶ちません。イヌ・サル、ネコ、コウモリ（アメリカ大陸ではアライグマ、スカンク、キツネ）との接触には十分注意し、咬まれたりひっかかれたりした場合には、直ちに医療機関を受診しましょう。

帰国後に体調が悪くなったら

帰国時体調の変化があれば、**空港等の検疫所**に相談しましょう。帰国後に医療機関を受診する際は渡航歴、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて事前に連絡し指示に従いましょう。

手足口病の患者報告数が国が定める警報基準を超えました(千葉県・松戸保健所管内)

患者の年齢は2歳以下が半数以上ですが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。特別な治療法はなく、経過観察を含め症状に応じた治療となります。感染を防ぐため**流水や石けんによる手洗い**をして、**タオルの共用は避け**ましょう。また**排泄物の適切な処理**を行いましょう。



厚生労働省
手足口病

蚊やダニに注意！

蚊に刺されることにより起こる感染症

日本において、蚊に刺されることが原因でおこる感染症(日本脳炎以外)は、海外からの輸入感染症としてみられています。「デング熱」は、2014年や2016年等国内でも感染例が報告されました。

ダニに咬まれることにより起こる感染症

人が野外作業や農作業、レジャー等で、ダニの生息場所に立ち入るとダニに咬まれることがあります。ダニがウイルスや細菌を保有している場合、咬まれた人が病気を発症することがあります。代表的な病気が「日本紅斑熱」などです。



蚊やダニに刺されない(咬まれない)ためには

- 蚊がいそうな場所では、**肌を露出しない**長袖、長ズボンを着用したり、素足でのサンダル履きを避ける
- 白などの明るい色のシャツやズボンを選ぶ
- 有効成分(ディート、イカリジン等)を含む虫よけ剤を使い、蚊を寄せ付けなくする
- 蚊の幼虫が発生しそうな水たまり(植木鉢の皿・古タイヤの中の水)の除去・清掃する